

平成20年5月22日

I-Lion Day

事故から三年、
三人の命の重さと事故の悲惨さを
心に刻み続けるために…



平成20年8月1日

仙台育英学園同窓会会報

事故から三年、
心に刻み続けるために…

★平成20年度
『I-Lion Day』
メモリアル記念講話

生徒を代表して、生
徒長が「事故を風化
させないよう、これか
らも後輩に伝えて行こ
うと思います」と決意
を力強く語りました。

友人の命を奪った事件
に対してはいけない」と
訴え、生徒たちに「皆
さんも将来、車を運転
するときは交通ルール
を守って安全運転を心
掛けください」と呼
びかけました。

関係者全国連絡協議会
会員と本校生徒会役員
を中心とした署名活動
にも参加されていました。
壇上で折原さんは、
友人の命を奪った事件
について語りました。

関係者全国連絡協議会
会員と本校生徒会役員
を中心とした署名活動
にも参加されていました。
壇上で折原さんは、
友人の命を奪った事件
について語りました。

部が「飲酒運転根絶ア
ピール演技」を披露。
演技のあとチアリーダー^{（団体対策）}
一部のキャバテンが「仙
台育英学園のチアリーダー^{（団体対策）}としてさまざまな
形で貢献しているよ
うにこれからも頑張っ
て行きたいと思います」
と挨拶しました。

参加者(仙台育英学園
関係者)：
剣道部、卓球部、ラ
イフル射撃部、サッ
カー部等

学園創立者

加藤利吉先生物語

《第七回》 ここでくたばつてたまるか。

もう一度、もう一度…やり直そう!!

のためについに屋根
が、末期の声を上げ
て焼け落ちました。
くたばつてたまるか、
やり直さんだ!

二 省 錄

この度仙台育英中學校生徒用の三省錄が昭和拾年第百學期の二冊分を故鈴木正春先輩の遺稿より寄贈されましたので、当時の記録として掲載いたしました。

中学校の発展、しかし
時代は暗い戦争へ…

明治三十八年（一九〇五年）私塾「育英塾」、そして大正十一年（一九二二年）には利吉先生の夢がかなつて『仙台育英中學校』が外記丁の地に誕生。昭和十四年（一九三九年）、ついに極めて斬新的な新校舎ができました。

「ここ仙台の地に育英あり」の世評を得るような教育の一環で、利吉はこれを機に校長職を退き、理事長職に専念することにしました。昭和十六年（一九四一）

年（十月、日本を取

り巻く太平洋の状況

が紧迫の度を増して

いるときです。

そして昭和十六年（一九四一年）十一月八日、日本軍が真珠湾を奇襲

攻撃。太平洋戦争が勃

発します。戦火の拡大

とともに、国内の戦時

体制も強化され、中学

生も勤労動員されて軍

需工場で働くようにな

り、仙台育英中學校の

生徒たちも武器の製

造に携わるようになり

ます。戦争は年を追うごと

にます。昭和十九年（一九四四年）の暮れには米軍の爆撃機B29が日本各地を空襲し始めます。昭和二十年（一九四五年）三月九日の大空襲では東京が焼き尽くされました。そして七月十日未明、運命の時がやつてきました。仙台市に空襲警報のサインレンが鳴り渡りました。B29百二十三機の大編隊が飛来、一万九百六十一発（九百十二トン）の焼夷弾を投下しました。火炎が立ち上がり、火薬が立ち上がると同時に、利吉は校舎へと向って走りました。火炎が立ち上がるに包まれていま

した。

「もう一度…やり直すぞ。やり直すんだ」との姿は不死鳥そのもの、ライオンの放ちました。

利吉が決然と言いだす」との姿は不死鳥そのもの、ライオンの放ちました。

利吉が決然と言いました。

利吉が決

